

令和 7 年 12 月 23 日

地震本部地域講演会 in 高知
「昭和南海地震から 80 年～巨大地震に備える技術と知恵～」
を開催します！

令和 8 年 12 月 21 日で、昭和南海地震発生から 80 年を迎えます。

地震調査研究推進本部（地震本部）では、平成 7 年に文部科学省に設置されて以来、国内の地震津波観測網の整備や、地震の調査観測・研究を推進してきました。近年では、高知県沖～日向灘にかけて「南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）」の整備を推進しており、地震動を最大 20 秒程度、津波を最大 20 分程度早く直接検知できるようになり、緊急地震速報や津波情報等のより迅速な発表などに貢献しています。N-net の海底観測データを受け取る陸上局の一つは、室戸市に整備されました。

本講演会では、このような国の取組や、地震の観測技術、防災対策、地域の自然の魅力を伝える取組について、地震の専門家や国・県の担当者が解説します。地震に備える学びを深める機会として、ぜひご参加ください。

1. 開催日時 令和 8 年 2 月 8 日（日）13 時 30 分から 16 時 15 分（受付 12 時 30 分開始）
2. 会場 高知県立県民文化ホール グリーンホール（高知県高知市本町 4-3-30）※オンライン配信あり
3. 主催 地震調査研究推進本部、高知地方気象台
後援 高知県、高知市、気象友の会
4. 対象 どなたでも参加できます。
5. 定員 先着 400 名（会場） ※事前登録優先
6. 参加費 無料
7. 詳細・事前登録

プログラム等の詳細は、下記イベントページをご覧ください。
事前登録も、下記ページからお申込みいただけます。

<https://www.jishin.go.jp/resource/seminar/260208kochi/>



イベント詳細・事前登録
はこちら

連絡先：

地震調査研究推進本部事務局 山根

（文部科学省研究開発局地震火山防災研究課）

電 話：03-5253-4111（代表）

：03-6734-4439（直通）

地震本部地域講演会 in 高知

昭和南海地震から80年

～巨大地震に備える技術と知恵～

日時 2026年2月8日(日) 13:30～16:15

会場 高知県立県民文化ホール(グリーンホール)

オンライン配信あり

令和8年12月21日で、昭和南海地震発生から80年を迎えます。

地震調査研究推進本部（地震本部）では、平成7年に文部科学省に設置されて以来、国内の地震津波観測網の整備や、地震の調査観測・研究を推進してきました。近年では、高知県沖～日向灘にかけて「南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）」の整備を推進しており、地震動を最大20秒程度、津波を最大20分程度早く直接検知できるようになり、緊急地震速報や津波情報等のより迅速な発表などに貢献しています。N-netの海底観測データを受け取る陸上局の一つは、室戸市に整備されました。

本講演会では、このような国の取組や、地震の観測技術、防災対策、地域の自然の魅力を伝える取組について、地震や防災の専門家や、国・県の担当者が解説します。地震に備える学びを深める機会として、ぜひご参加ください。

参加費無料

どなたでも参加できます

定員：先着400名

※事前登録優先

地域講演会特設サイト



<https://www.jishin.go.jp/resource/seminar/260208kochi/>

どなたでも無料で参加いただけますので、当日会場にお越しください。なお、入場は先着400名のため、事前登録いただいた方を優先します。事前登録につきましては、右のURL（二次元コード）にアクセスいただくか、メール（問い合わせ先）にてお名前、ご連絡先等をご登録ください。

jishinhonbu-kouen-r7kochi@ctie.co.jp

事前登録はこちら
締切:令和8年2月4日(水)



<https://forms.office.com/r/FxXiKLh1Ju>

写真：昭和南海地震発生後の高知市内の様子（高知市提供）

主催：地震調査研究推進本部、高知地方気象台 後援：高知県、高知市、気象友の会

地震に揺らがない国にする
地震本部
政府 地震調査研究推進本部
The Headquarters for Earthquake Research Promotion

 **高知地方気象台**

 **高知県**
Kochi Prefecture

 **高知市**

地震本部地域講演会 in 高知 昭和南海地震から80年

～巨大地震に備える技術と知恵～

2026年2月8日(日) 13:30～16:15

事前登録はこちら
締切:令和8年2月4日(水)



<https://forms.office.com/r/FxXiKlH1Ju>

プログラム

13:30

■ 主催者代表（文部科学省）挨拶

13:35

■ これまでの地震本部の活動とその成果

上野 寛（うえの ひろし）
文部科学省 地震調査管理官

13:50

■ 気象庁が発表する地震・津波の情報

藤本 英生（ふじもと ひでお）
高知地方気象台 台長

14:05

■ 海の底から高知を守れ！ 新たな地震津波観測網 N-net完成

武田 哲也（たけだ てつや）
防災科学技術研究所 地震津波複合災害研究部門 上席研究員



2011年東北地方太平洋沖地震を契機に、全国各地で海底地震津波観測網が整備されました。南海トラフ巨大地震の想定震源域が広がる高知県沖についても、2025年6月に南海トラフ海底地震津波観測網 N-netが完成し、観測体制が整いました。深い海の底では、観測機器が常時稼働しており、地震と津波のデータをリアルタイムで送信し続けています。本講演では、最新技術を結集したN-netのしくみと特徴、そしてN-net完成による防災上の貢献について紹介します。

14:35

■ デジタル技術が支えるこれからの防災

廣井 慧（ひろい けい）
地震調査研究推進本部 専門委員／京都大学防災研究所 准教授



近年、AIやセンサー、通信ネットワーク技術の進展により、防災のための情報収集・分析はより高度化しています。本講演では、災害時の情報伝達や状況把握を支えるデジタル技術の現在地と、今後の防災ITが目指すべき姿について、最新の研究成果を踏まえてわかりやすく紹介します。

15:05

■ 休憩（10分）

15:15

■ 地域の魅力の発信と防災意識の醸成

～持続的发展を目指した土佐清水ジオパークでの実践～
土井 恵治（どい けいじ）
火山調査研究推進本部 政策委員会専門委員／
長野県 火山対策総合アドバイザー／
土佐清水ジオパーク推進協議会 事務局長



ジオパークは、大地の成り立ちとそこで育まれる動植物や私たちの営みの関係を学び、地域の自然や文化の魅力の発信、ジオツーリズムの振興や防災知識の普及などの活動を通じて持続的な発展をめざす地域です。ここでは、土佐清水ジオパークがどのようにジオパーク活動を実践しているかをお話します。

15:45

■ 高知県における南海トラフ地震対策

江渕 誠（えぶち まこと）
高知県危機管理部長

16:00

■ 質疑応答（進行次第で省略の可能性あり）

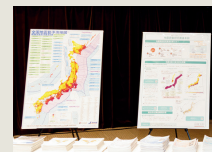
16:10

■ 閉会挨拶

◆プログラム・講演内容は変更となる場合があります。

展示コーナー

会場内には、地震調査研究推進本部、気象台、高知県内での取り組みを見て・知って・学べるパネルや動画などを展示しています。ぜひ、会場までお越しください。



会場

高知県立県民文化ホール（グリーンホール）

高知県高知市本町4丁目3-30



【アクセス】

- ・とさでん交通路面電車「県庁前」下車 徒歩約3分
- ・高知駅からタクシー約10分

【駐車場について】

県民文化ホールの駐車場は、主催者およびホールの関係者用となっております。ご来場の際は公共交通機関または近くの駐車場をご利用ください。



お問い合わせ先：地震本部地域講演会事務局（株式会社建設技術研究所内）（文部科学省からの運営業務請負業者）
jshinhonbu-kouen-r7kochi@ctie.co.jp